

令和7年度 シラバス

授業科目	二級建築士対策	単位／時間	380 h
開講学科等	二級建築士専攻科	担当教員	山中貴記／濱口一平 葛岡龍樹／松尾優子
授業の目的・テーマ	二級建築士試験合格に向けた対策授業を行う。		
授業の到達目標	二級建築士：学科試験の合格レベル。 二級建築士：設計製図試験の合格レベル。		
授業 の 計 画	1	計画・法規・構造・施工	26
	2	計画・法規・構造・施工	27
	3	計画・法規・構造・施工	28
	4	計画・法規・構造・施工	29
	5	計画・法規・構造・施工	30
	6	計画・法規・構造・施工	31
	7	計画・法規・構造・施工	32
	8	計画・法規・構造・施工	33
	9	計画・法規・構造・施工	34
	10	計画・法規・構造・施工	35
	11	計画・法規・構造・施工	36
	12	計画・法規・構造・施工	37
	13	計画・法規・構造・施工	38
	14	設計製図	39
	15	設計製図	40
	16	設計製図	41
	17	設計製図	42
	18	設計製図	43
	19		44
	20		45
	21		46
	22		47
	23		48
	24		49
	25		50
授業の方法	演習		
テキスト/参考文献	ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳 他		
評価の方法や基準	二級建築士：学科試験の合格レベル。 二級建築士：設計製図試験の合格レベル。		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	【山中】インテリア事務所にて図面作成、パース制作等。自営にてパース制作業務。 【濱口】建築設計・監理業務20年間（住宅・公共施設・福祉施設等）。 【葛岡】建築設計事務所に勤務し独立。 【松尾】建築設計事務所にて設計士として勤務。		
実務経験の活かし方	【山中】実務の現場で必要とされている内容に即した作図法を効率的かつ直接的に指導。 【濱口】一級建築士としての経験や知識を元に、構造力学の基礎を習得させる。 【葛岡】建築設計における建築法規での知識を授業に活かす。 【松尾】建築設計の実務で養ってきた知識や技術、ノウハウを学生に還元していく。		
履修上の注意事項	二級建築士試験合格に向けた対策		

令和7年度 シラバス

授業科目	インテリアコーディネーター対策		単位／時間	70h
開講学科等	二級建築士専攻科		担当教員	石元 優
授業の目的・テーマ	インテリアコーディネーター資格試験合格に向けた対策授業を行う。			
授業の到達目標	インテリアコーディネーター：一次試験の合格レベル。 インテリアコーディネーター：二次試験の合格レベル。			
授業 の 計 画	1	インテリア販売	26	練習問題と解答例③
	2	インテリアの歴史	27	練習問題と解答例④
	3	インテリア計画	28	
	4	色彩と造形	29	
	5	家具	30	
	6	ウィンドウトリートメント	31	
	7	各種エレメント	32	
	8	構造と施工	33	
	9	材料	34	
	10	建具	35	
	11	環境工学	36	
	12	住宅設備	37	
	13	照明	38	
	14	表現技法	39	
	15	建築関連法規	40	
	16	消費者関連法規	41	
	17	住宅と社会	42	
	18	模擬試験①	43	
	19	模擬試験②	44	
	20	二次試験対策	45	
	21	二次試験対策	46	
	22	二次試験対策	47	
	23	二次試験対策	48	
	24	練習問題と解答例①	49	
	25	練習問題と解答例②	50	
授業の方法	演習			
テキスト/参考文献	インテリアコーディネーターハンドブック 他			
評価の方法や基準	インテリアコーディネーター：一次試験の合格レベル。 インテリアコーディネーター：二次試験の合格レベル。			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	ハウスメーカーにて設計担当として勤務。			
実務経験の活かし方	業界で養った実務技術を、学生に還元していく。また、業界での業務フローや担当の役割りなど、専門科目以外の部分でも知識を与えていく。			
履修上の注意事項	特になし			

令和7年度 シラバス

授業科目	研究	単位／時間	430 h
開講学科等	二級建築士専攻科	担当教員	松尾 優子
授業の目的・テーマ	自ら研究テーマを持って取り組む。		
授業の到達目標	コンペ入賞などを目指す。		
授業 の 計 画	1 自主研究課題	26 自主研究課題	
	2 自主研究課題	27	
	3 自主研究課題	28	
	4 自主研究課題	29	
	5 自主研究課題	30	
	6 自主研究課題	31	
	7 自主研究課題	32	
	8 自主研究課題	33	
	9 自主研究課題	34	
	10 自主研究課題	35	
	11 自主研究課題	36	
	12 自主研究課題	37	
	13 自主研究課題	38	
	14 自主研究課題	39	
	15 自主研究課題	40	
	16 自主研究課題	41	
	17 自主研究課題	42	
	18 自主研究課題	43	
	19 自主研究課題	44	
	20 自主研究課題	45	
	21 自主研究課題	46	
	22 自主研究課題	47	
	23 自主研究課題	48	
	24 自主研究課題	49	
	25 自主研究課題	50	
授業の方法	実習		
テキスト/参考文献	特になし		
評価の方法や基準	コンペ結果など		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	県内情報誌にて連載経験あり。 様々な印刷物のデザインとイラスト担当の経験あり。 ロゴマークやキャラクター制作経験あり。		
実務経験の活かし方	デザインを考える上でのアイデアやヒントの見つけ方や、技法や制作方法などを学生に教えていくことができる。		
履修上の注意事項	特になし		

令和 7 年度 シラバス

授業科目		卒業制作		単位／時間	140 h
開講学科等		二級建築士専攻科		担当教員	松尾 優子
授業の目的・テーマ		・ 1 年間で培った技術と知識の集大成。研究テーマ、調査、設計、模型制作、プレゼンテーションまで一貫して行なう。			
授業の到達目標		・ プレゼンテーションパネルの制作（B 1 x 2）・ プレゼンテーション模型の制作			
		・ プレゼンテーション 3 D パースの制作 ・ プレゼンテーション（発表会）			
		・ 高知県建築デザインコンペ出品・入賞			
授 業 の 計 画	1		26		
	2		27	制作	
	3		28	〃	
	4		29	〃	
	5		30	〃	
	6		31	プレゼンテーション	
	7		32		
	8		33		
	9		34		
	10		35		
	11		36		
	12		37		
	13		38		
	14		39		
	15		40		
	16		41		
	17		42		
	18		43		
	19		44		
	20		45		
	21		46		
	22		47		
	23		48		
	24		49		
	25		50		
授業の方法		演習			
テキスト/参考文献		特になし			
評価の方法や基準		企画力、構成力、表現力にて総合評価する。 発表会におけるプレゼンテーションにて評価する。			
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験		建築設計事務所にて設計士として勤務。			
実務経験の活かし方		建築設計の実務で養ってきた知識や技術、ノウハウを学生に還元していく。			
履修上の注意事項		特になし			